

令和元年度 施策評価シート

基本目標	IV	安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	460	安心して子育てができ、子ども・若者が夢や希望をもてるまちをつくる
施策	463	支援が必要な子ども・若者が安心して暮らせるしくみをつくる
施策の目標	虐待の発生を予防するための支援の強化、関係機関による支援体制の確立など、まち全体での虐待防止の環境が整っています。また、困難を抱えた子どもと家庭への支援体制が充実することで、次代を担う子ども・若者たちが、安心して健やかに成長しています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「児童虐待を疑ったときの通報先を知っている」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	26.7	29.3	31.9	34.5	37.0	39.6	42.2	44.8	47.4	50.0
実績	26.7	-	-							

指標名	「子どもに必要な支援が行き届いている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	45.5	46.6	47.7	48.8	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
実績	45.5	-	-							

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
平成28年度に実施された「東京都子供の生活実態調査」のデータ提供を東京都から受け、本区独自の詳細分析を行う。当該分析結果を受けて、平成30年3月に「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定した。 関係各課において子どもの未来応援(子どもの貧困対策)に関する各対策事業を計画的に推進する。 また、平成30年度から子ども食堂の運営団体が参加する「子どもの居場所ネットワークづくり」連絡会を開催し、子ども食堂間の横の連携を構築した。	H28	7
	H29	4,010
	H30	150

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	関係各課所管事業において、子どもの未来応援(子どもの貧困対策)関連事業が着実に実施されている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
「墨田区子どもの未来応援取組方針」に基づき、関係各課所管事業の中で子どもの未来応援(子どもの貧困対策)についてそれぞれ検討し、同時に、国や都の動きを捉えて新たな制度や補助を活用の上で、対策事業を計画的に進めていく。	
【今後の具体的な方針】	
今後、各課所管事業の中で社会的ニーズや内容を検証し、実効性の高い取組を実施していく必要がある。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	すみだの子どもの未来応援 事業費	150	9,843	9,993	「墨田区子どもの未来 応援取組方針」に基づ き、各課所管事業の中 で子どもの未来応援 (子どもの貧困対策) についてそれぞれ検討 し、同時に、国や都の 動きを捉えて新たな制 度や補助を活用の上 で、その対策事業を計 画的に進めていく。	1	現状維持
						1	平成30年度
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	「墨田区子どもの未来応援取組方針」の策定				単 位	部
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1	29	目 標	-	1	-	
				実 績	-	1	-	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標							
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	国や東京都の動きに注目しつつ、柔軟かつ的確に子どもの未来を応援していくため、「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定する。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	子どもの居場所ネットワークづくり連絡会の開催				単 位	回
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
1		R7	目 標	-	-	1	1	
			実 績	-	-	1		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	1	1	1	1	1	1		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
区内各所で子ども食堂を運営している団体の連絡会を運営し、子ども食堂間の横の連携を構築する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	子どもの居場所ネットワークづくり連絡会を継続的に開催する。

課題・問題点
子どもの貧困対策について、国や東京都の動向に注視して、的確な施策を展開する。

補助金名称	子どもの居場所ネットワークづくり 運営補助		主管課・係（担当）
根拠法令			生活福祉課生活支援係
補助概要	区内各所で子ども食堂を運営している団体等の連絡会を墨田区社会福祉協議会が運営しており、その運営費を補助する。		03-5608-8517
目的	子ども食堂運営団体の横の連携を構築することで、各団体の情報やノウハウの蓄積に資する。		
対象	墨田区社会福祉協議会		
基準	区独自基準		
補助条件	子どもの居場所ネットワークづくり連絡会を開催する。		
経過	開始年度	平成30年度	終了予定
	平成30年3月に墨田区子どもの未来応援取組方針を策定した。その「方針と取組」のなかに「子どもの居場所ネットワークづくり」があり、その具体化として子ども食堂の連絡会を開催した。		
議会質問の状況			
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 30年度 平成30年11月5日開催 6団体参加		

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）						50	
決算額（令和元年度は見込み）						50	
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	50	0
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標					単位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	子どもの居場所ネットワークづくり連絡会の開催				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	-	-	1	1
				実績	-	-	1	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		1	1	1	1	1	1	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
区内各所で子ども食堂を運営している団体の連絡会を運営し、子ども食堂間の横の連携を構築する。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		子どもの居場所ネットワークづくり連絡会を継続的に開催する。						

課題・問題点	
連絡会を通して子ども食堂をネットワーク化し、今後の社会的ニーズを把握する。	